

1 JF しまね・大田市和江漁港(晩市：夕方のせり見学)

【時期：通年】

三瓶山に源を発する静間川の河口東側に平成 25 年に 4 つの魚市場が統合されて、現在の和江漁港が完成する。

最新の設備が整えられた和江漁港で、全国でも珍しい晩市（夕方のせり）の様子を見学することができる。



教科との関わり

○第 5 学年・社会科 「私たちの生活と食料生産」

○学習指導要領との関連：第 5 学年 社会科 内容(2)ア(イ)

食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食糧生産を支えていることを理解すること。

内容

①漁港周辺の見学 ②魚のせりの見学 ③漁港の方のお話

ねらい

○せり見学を通して、漁業に従事している人々の工夫・努力や、魚を生産地から消費地まで、新鮮に運ぶための工夫に気付く。

受入れ可能人数 50 名程度

体験時間 約 1 時間(移動時間：車片道約 30 分)

※気象条件によりせりが行われな場合がある。土曜日の夕方はせりが行われな。

研修の流れ

- (1)事前学習：事前学習資料等を活用して単元の関連部分を学習する。
- (2)集合・移動：車（またはバス）で和江漁港に移動する。
- (3)和江漁港到着：引率責任者は漁港入り口で受付簿に記入する。見学者は長靴に履き替えて、2F 見学デッキに上がる。
- (4)せり見学：せりの様子を見学する。※写真・ビデオ撮影することはできない。
- (5)移動：靴を履き替え、車（またはバス）で交流の家に移る。
- (6)事後学習：感想や新たに生じた疑問等をまとめる。



2 やましる屋(川魚の養殖)

【時期：4月～11月】

三瓶山の豊富で澄み切った湧き水を利用して、数万匹のやまめ・いわなの養殖を行っている。大小いろいろな池があり、養殖の様子を間近で見学することができる。

その場で炭火塩焼きにして食べたり、釣りや掴み取りをしたりできる。(実費・要予約)



教科との関わり

- 第5学年・理科 「動物の誕生」
- 第5学年・社会科 「私たちの生活と食料生産」

- 学習指導要領との関連:第5学年 理科 内容B(2)動物の誕生ア(ア)
魚には雌雄があり、生まれた卵は日がつにつれて中の様子に変化してかえること。
- 学習指導要領との関連:第5学年 社会科 内容(2)ア(ア)
我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

内容

- ①やまめ・いわなの養殖場の見学 ②養殖業者の方のお話

ねらい

- 季節や気候条件にあわせて、より効率的に産卵・孵化するための工夫や努力をしていることに気付く。
- 養殖場の見学を通して、養殖業に従事している方が、消費者の需要にこたえ、新鮮で良質な物を生産し出荷するために様々な工夫や努力をしていることや、地形や気候などの自然環境や社会的な条件を生かして生産を高める工夫や努力に気付く。

受入れ可能人数 40名程度

体験時間 約1時間(移動時間:車片道15分)

研修の流れ

- (1)事前学習:学校で単元の関連部分を学習する。
- (2)集合・移動:車(またはバス)で養殖場に移動する。
- (3)到着・見学:
 - ①やまめ・いわなの養殖のお話
 - ②養殖場の見学
 - ③質問タイム
 - (④試食タイム)
- (4)移動:車(またはバス)で交流の家に移動する。
- (5)事後学習:交流の家及び学校で学習のまとめをする。



3 福間牧場(牧場見学：乳牛)

【時期：通年】

大自然三瓶山のふもとで飼育されている乳牛に、えさやり体験や乳しぼり体験など、直接触れ合うことができる。

また、生産者から牛乳を出荷するための様々な工夫や努力を聞くことができる。



教科との関わり

○第5学年・社会科 「私たちの生活と食料生産」

○学習指導要領との関連：第5学年 社会科 内容(2)ア(7)

我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

内容

①乳牛牛舎の見学 ②餌やり体験 ③乳しぼり体験 ④牧場の方のお話

ねらい

○牧場見学を通して、畜産業に従事している人々の工夫・努力や、乳製品が生産地から消費地まで、新鮮に運ぶための工夫に気付く。

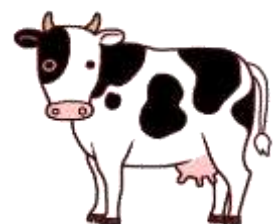
受入れ可能人数 50名程度

体験時間 約2時間(移動時間：徒歩10分)

費用 ブーツカバー代1人100円

研修の流れ

- (1)事前学習：事前に単元の関連部分を学習する。
- (2)集合・移動：徒歩で牧場に移動する。
- (3)牧場到着：引率責任者が先導する。見学者は靴にシューズカバーを被せる。
- (4)牧場見学：牧場主の案内に従って、牧場の様子を見学する。
- (5)移動：シューズカバーを脱ぎ、交流の家へ移動する。
- (6)事後学習：感想や新たに生じた疑問等をまとめる。



4 イワミ村田製作所(電子部品製造工場の見学)

【時期：通年】

イワミ村田製作所が生産しているコンデンサをはじめとする電子部品は、携帯電話、パソコン&周辺機器、テレビ&家電製品等、様々な電子機器に使用されている。世界的シェアを誇るムラタ製作所のものづくりの現場を間近に見ることができる。

また、イワミムラタ製作所で生産されている電子部品を活用して、科学実験を体験したり、イワミ村田製作所が製作されたロボットの实演を見たりすることができる。



教科との関わり

- 第5学年・社会科 「これからの工業生産とわたしたち」
- 第6学年・理科「電気と私たちの暮らし」

○学習指導要領との関連:第5学年 社会科 内容(3)ア(イ)

工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。

○学習指導要領との関連:第6学年 理科 内容A(4)電気の利用ア

(ア)電気は、作りだしたり蓄えたりすることができること。

(イ)電気は、光、音、熱、運動などに変換することができること。

(ウ)身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があること。

内容①イワミ村田製作所の概要等説明 ②電子部品を活用した実験 ③製品製造の見学
④ロボット製品の实演

ねらい

- 工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて気付く。
- 電気は、手回し発電機などを使って作り出したり、コンデンサなどにためたりすることができることや、電気は、光、音、運動などに変換されることに気付く。

受入れ可能人数 30名程度

体験時間 約2時間(移動時間:車片道30分)

研修の流れ

- (1)事前学習:事前に単元の関連部分を学習する。
- (2)集合・移動:車(またはバス)でイワミ村田製作所に移動する。
- (3)工場見学:社員の案内に従って、工場の様子を見学したり、実験したり、ロボットの实演をみたりする。
- (4)移動:車(またはバス)で交流の家に移動する。
- (5)事後学習:感想や新たに生じた疑問等をまとめる。



イワミ村田製作所
〒250-0292 静岡県伊豆市伊豆山
〒250-0292 静岡県伊豆市伊豆山
〒250-0292 静岡県伊豆市伊豆山

5 五十猛町(神話めぐり)

【時期：通年】

スサノオノミコトとその息子イソタケルノミコト上陸の地と伝えられる町，五十猛町を巡る。五十猛歴史研究会の方にガイドしていただきながら，絶景ポイントを見学し，神話への関心を高めることができる。



教科との関わり

○第6学年・社会科 「日本の歴史～縄文のむらから古墳のくにへ～」

○学習指導要領との関連：第6学年 社会科 内容(2)ア(ア)

狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに，むらからくにへと変化したことを理解すること。その際，神話・伝承を手掛かりに，国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

内容

①神話にまつわる場所の見学 ②神話にまつわるお話

ねらい

○五十猛町内の神話にまつわる場所の見学を通して，国の形成に関する考え方などに関心をもつ。

受入れ可能人数 1グループ 20～25名程度(複数グループ対応可能)

体験時間 約2～3時間(移動時間：車片道40分)

費用 ガイド料1グループ1,000円 資料代100円

研修の流れ

- (1)事前学習：事前に単元の関連部分を学習する。
- (2)集合・移動：車(またはバス)で五十猛町に移動する。
- (3)五十猛町到着：五十猛町歴史保存会の方の話聞く。
- (4)牧場見学：牧場主の案内に従って，牧場の様子を見学する。
- (5)神話巡り：五十猛町歴史保存会の方にガイドしてもらいながら，ポイントを巡る。
- (5)移動：車(またはバス)で交流の家へ移動する。
- (6)事後学習：感想や新たに生じた疑問等をまとめる。

6 遊々の森(未来の森を作ってみよう)

【時期：4月～10月】

自然豊かな三瓶の森で、グリーンシャワーを浴びながら未来の森を作り、「環境」について考える。

三瓶周辺にある「遊々の森(国有林)」で、森林管理署森林官から“森の不思議”や“森の今”のお話を聞いたり、森林の間伐体験をしたりする。

間伐した木材を使って、コースターやイスを作ることにもできる。



教科との関わり

○第5学年・社会科 「国土の環境を守る」

○学習指導要領との関連:第5学年 社会科 内容(5)ア(イ)

森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。

内容

①森林資源の育成や保護のお話 ②森林の間伐体験 ③木材を使った製作

ねらい

○お話や体験を通して、森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力及び環境保全のための国民一人一人の協力の必要性に気付く。

受入れ可能人数 30名程度

体験時間 約3～6時間(移動時間:車片道20分)

研修の流れ

- (1)事前学習:事前に単元の関連部分を学習する。
- (2)集合・移動:車(またはバス)で「遊々の森(国有林)」に移動する。
- (3)遊々の森到着:森林管理署の方と出会う。
- (4)森での体験活動:森林官のお話を聞いたり紙芝居を見たりする。
森へ入り間伐(枝打ち)体験する。
間伐材を使ってコースターや椅子を製作する。
- (5)移動:車(またはバス)で交流の家に移る。
- (6)事後学習:感想や新たに生じた疑問等をまとめる。

7 石見銀山(銀山プログラム)

【時期：通年】

世界遺産「石見銀山」での活動プログラム。国の重要文化財に指定されている熊谷家住宅（約200年前に建築された建物）において、かまどを使ってご飯を炊いたり、七輪を用いて魚を焼いたりといった昔のくらしの生活体験ができる。

また、豊かある自然、歴史ある街並みを眺めたり、龍源寺間歩、石見銀山資料館、世界遺産センター等の見学・体験で、銀の採掘の歴史を探ったりできる。



教科との関わり

- 第3学年・社会科 「古い道具と昔のくらし」
- 第6学年・社会科 「江戸幕府と政治の安定」「新たな日本、平和な日本へ」
- 第5学年・家庭 「食べて元気！ごはんのみそ汁」

○学習指導要領との関連：第3学年 社会科 内容(2)ア(ア)

市や人々の生活は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。

○学習指導要領との関連：第6学年 社会科 内容(4)ア

(キ)江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解すること。

(シ)遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

○学習指導要領との関連：第5学年 家庭 内容B衣食住の生活(2)ア(オ)

伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。

内容①むかしくらし体験(野外炊飯活動+α) ②街並み散策

③石見銀山資料館・世界遺産センター・龍源寺間歩等の見学

ねらい

- むかしくらし体験で昔の生活を体験することにより、日本の伝統文化を学び、その価値や面白さに気付く。
- 世界遺産である石見銀山の史跡や町並みを見学することで、継承されてきた銀の採掘技術を学び、地域で守ってこられた美しい景観や自然を肌で感じさせる。

受入れ可能人数 定員40名程度

体験時間 約6～7時間(移動時間：車片道40分)

研修の流れ

- (1)事前学習：事前に石見銀山についての学習をする。
(銀山学習の学習パンフレット配布，DVD視聴，講師等の依頼も可)
- (2)集合・移動：車(またはバス)で「石見銀山」に移動する。
- (3)石見銀山着：熊谷家住宅でむかしくらし体験をする。
街並みを探索し、龍源寺間歩・石見銀山資料館等の見学をする。
- (4)移動：車(またはバス)で交流の家に移動する。
- (5)事後学習：石見銀山で学習したことをまとめる。

8 カヌーの里おおち(カヌー体験)

【時期：通年】

大田市の隣、美郷町の「カヌーの里おおち」では、カヌーの体験ができる。江の川でのカヌーを体験しながら景色を楽しみ、自然と一体になれる。

また、きれいな水で泳いだり、川魚を観察したりもできる。



教科との関わり

○体育 「水辺活動～カヌーをしよう～」

○学習指導要領との関連:体育 第3章 2 内容の扱い(9)

自然との関わりの深い雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動などの指導については、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことに留意すること。

内容

○カヌーの体験

ねらい

○パドルを操作し水上をカヌーで移動したり、自然の美しさを感じたりできる。

受入れ可能人数 一人乗り 80 艇程度

体験時間 カヌー体験時間 2 時間 30 分 (移動時間: 車片道 20 分)

費用 入場料 小中学生 100 円 大人 200 円 (20 名以上団体 50 円引き)

シングルカヤック 小中学生 2,500 円 大人 3,000 円

※申込は、直接「カヌーの里おおち」にしてください。

〒699-4707 島根県邑智郡美郷町亀村 54-1 Tel/Fax0855-75-1860

※移動バスが必要な場合は、「カヌーの里おおち」に相談をしてください。「カヌーの里おおち」で移動バスが借りられない場合、交流の家のバスが空いていれば利用できます。

研修の流れ

- (1) 事前準備：水辺で活動できる準備をする。
- (2) 集合・移動：車(またはバス)で「カヌーの里おおち」に移動する。
- (3) カヌーの里おおち着：インストラクターの指導によりカヌーを体験する。
- (4) 移動：車(またはバス)で交流の家に移動する。
- (5) 事後学習：活動の感想を書く。

9 三瓶自然館「サヒメル」(天体・自然観察)

【時期：通年】

三瓶青少年交流の家に隣接する県立博物館。生物・地質・天体等の自然に関する常設展示や企画展示の見学。ビジュアルドームでの大型ドーム映像・プラネタリウムの視聴。学芸員による天体・自然観察会等の学習利用。自然への興味・関心を高めたり、理科の学びを深めたりすることができる。



島根県西部公式観光サイト HP より

教科との関わり

【例】第6学年・理科 「土地のつくりと変化～火山の噴火によってできた地形～」
※三瓶自然観「サヒメル」・三瓶青少年交流の家と連携した学習指導案あり

○学習指導要領 理科 第2 各学年の目標及び内容

B 生命・地球

(4) 土地のつくりと変化

土地のつくりと変化について、土地やその中に含まれる物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること。また、層には化石が含まれているものがあること。

(イ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。

(ウ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。

イ 土地のつくりと変化について追究する中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。

利用について

- 三瓶青少年交流の家での活動プログラムに「サヒメル見学」と入れてください。
- 天体観察(雨・曇：プラネタリウム)の利用もできます。天体観察を希望される場合は、必ず「サヒメル」へ予約をとってください。
- 申込・問い合わせは、三瓶自然観「サヒメル」にしてください。
※活動プログラムでの相談につきましては、三瓶青少年交流の家で行います。
- 休館日：火曜日

※「サヒメル」〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

TEL 0854-86-0500/Fax 0854-86-0501